



録画を配信

災害時におけるペット避難の充実を期待する

町長 可能な範囲で場所を確保したいが、個々の判断となる

ペット避難に関する状況

問 ペット避難が可能な指定避難所の状況はどうなっているか。

町長 ペット同行避難が可能な避難所は、示していない。

計画のうえでは、原則として屋外に設けられた所定のスペースで、犬や猫など小型哺乳類をケージに入れて飼育することを想定している。

可能な範囲で雨風をしのげる場所に避難スペースを確保したいと考えているが、個々の状況により検討・判断

となる。

なお、室内で避難者と共に生活する、いわゆる同伴避難は想定していない。動物アレルギーをお持ちの方もいらっしゃるもので、別枠での飼育なども含め全体的に検討していく必要がある。

総務課長 自主避難の場合は、避難指示により設ける指定避難所と違い、町での対応はできかねる部分がある。今後検討する必要がある。

問 それらペット避難に関する情報発信は、
町長 避難される方も準備を行う側も、情報



横山和浩議員



を共有していく必要がある。

飼育スペースの管理

問 避難所におけるペットの飼育場所の管理は主に飼い主が担うと思われる。その備えとして、ペット避難を体験する機会を地区ごとに設けてはどうか。

町長 飼育場所の使用や管理は、飼い主の責任で行っていただくしかないと思う。

ペットの餌や備品などを町が準備することは考えていないが、相談を受けた際にはお応えできるよう準備したい。

併せて、不妊・去勢手術や予防接種などは、飼い主の責任として徹底していただきたい。

総務課長 昨年の町総合防災訓練ではペット避難所を開設し、筆記用具や衛生用品、行動指示書などを入れたスターターキットを用いて訓練を行った。今後は、地区単位程度に事前にお渡しすることを考えたい。

意識の啓発が大切

問 ペット避難に関する意識の啓発はとても大切だと思う。町民課の取り組みはどうか。

町民課長 狂犬病予防接種などの機会に、ペットの災害対策に関する啓発チラシを配布することは可能と考える。

私もひとこと

ペット避難は考えたことがないです。大事ですね。

(60代女性)

事前につつけ、健康管理などを行っていた必要があるため、そうした内容でお配りすることも検討したい。

町長 自分の命を守ることに精いっぱいペットの準備ができなかった、という場合もあり得る。そうした際は避難所の担当者に相談いただければ、次のステージが成り立つと思う。まずは自分の命を自分で守っていく、ということをお願いしたい。